広報
大船渡
ーお知らせ版ー

平成17年（2005年）
2月21日号No.813

ホームページ
http://www.city.ofunato.iwate.jp/
Eメール
ofunato@city.ofunato.iwate.jp

編集・発行／大船渡市企画政策部秘書広聴課（〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15番地 ☎㉗3111 FAX㉖4477）

豪華客船「飛鳥」の13年連続17回目の入港を実現させた、市民挙げての〝日本一の歓迎〟

“全国一”元気あふれる港
大船渡港

『ポート・オブ・ザ・イヤー2004』グランプリを受賞

社団法人日本港湾協会（御巫清泰（みかなぎきよやす）会長）の機関誌「港湾」において、全国の港湾の中から大船渡港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2004」のグランプリに選定されました。

「ポート・オブ・ザ・イヤー」

ポート・オブ・ザ・イヤーとは、各種港湾活動（港湾の物流・人流・産業・観光・みなとまちづくりなど）や、港に関する話題づくりに、その年で最も優れ、日本の港湾・臨海部の活性化に寄与し、「港の元気」を高めた港湾が選定されるものです。

選定は、社団法人日本港湾協会の機関誌「港湾」読者の投票によるもので、重要港湾、地方港湾や規模の大小を問わず、全国すべての港湾が対象となります。

日本港湾協会は、港湾関係団体の最有力組織で、会員数は、港湾管理者や港湾関係者など約1,100人。

港湾整備運動・港湾振興促進運動の実施や、港湾に関する各種講演会の開催など、全国規模の活動を行っています。

甘竹勝郎大船渡市長は、東北地区港湾整備促進協議会会長として、日本港湾協会の理事に就任しています。

1、316票を獲得「全国一元気あふれる港」

「ポート・オブ・ザ・イヤー！2004」の授与式は、1月25日、東京都内のホテルで行われ、港湾所在市の甘竹勝郎大船渡市長と港湾管理者の岩手県から村井研二港湾空港課総括課長が出席しました。

「ポート・オブ・ザ・イヤー」は、平成15年から実施されているもので、第1回は554票を獲得した、名古屋港が選定。第2回となった平成16年は、大船渡港が1、316票を獲得し、「全国一元気あふれる港」として選定されました。

「港の元気」を高めた理由

日本港湾協会機関誌「港湾」によると、大船渡港が「港の元気」を高めた理由として、次の3点が挙げられています。

①東京をはじめとして、遠くは上海でのポートセールスなど、外貿コンテナ定期航路開設に向け、積極的に活動を展開している。

②豪華客船「飛鳥」入港の際、市民挙げて手づくりの歓迎行事を行い、「日本一の歓迎」と評判を呼び、13年連続17回の入港を実現させた。

③市が提唱した「海にひらこう岩手の国際化プラン」が、平成16年度全国都市再生モデル調査に採択され、地元を挙げて港湾を核とした海からの国際的なまちづくり・人づくりを積極的に推し進めている。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

今回の受賞は、当市が将来都市像としている国際港湾都市づくりに大きな弾みとなるとともに、大船渡港の知名度アップにもかなりの効果があるものと期待されます。

▽問い合わせ先
本庁港湾振興推進室
（☎内線116）